

報告事項ア

令和6年度鳥取県教育研究大会（鳥取県探究成果等発表会・ふるさとキャリア教育フェスティバル）の開催報告について

令和6年度鳥取県教育研究大会（鳥取県探究成果等発表会・ふるさとキャリア教育フェスティバル）の開催結果について、別紙のとおり報告します。

令和7年2月13日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和6年度鳥取県教育研究大会（鳥取県探究成果等発表会・ふるさとキャリア教育フェスティバル）の開催報告について

高等学校課・小中学校課

1 目的

県教育委員会は、鳥取県に誇りと愛着を持ち、予測困難な社会の変化に対応しながら、職業的・社会的に自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる児童生徒を育成する「ふるさとキャリア教育」を推進しています。今年度から、「ふるさとキャリア教育」の取組を広く県民に周知するため、高等学校課主催の「鳥取県探究成果等発表会」と小中学校課主催の「ふるさとキャリア教育フェスティバル」を合わせて「鳥取県教育研究大会」と位置付けて開催しました。

高等学校課では、鳥取県探究成果等発表会を開催し、各学校で取り組んでいる総合的な探究（学習）の時間・課題研究等に係る発表を通じた生徒相互の研鑽により、思考力・判断力・表現力等や主体性・協働性と学習意欲の向上を促し、学習への動機付けを図りました。

小中学校課では、ふるさとキャリア教育フェスティバルを開催し、小学生による「親子でおしごと体験ツアー」の成果発表会、高校生と県内企業が鳥取の魅力と未来について考えるパネルディスカッション、「ふるさとキャリア教育 CMコンテスト」の表彰式等を通じて、「ふるさとキャリア教育」の取組の周知と推進に向けた機運の醸成を図りました。

2 鳥取県探究成果等発表会

- (1) 日時 令和7年2月1日（土）午前10時から午後4時10分まで
- | | | |
|--------|----------|------------|
| 開会式 | 午前10時 | から午前10時10分 |
| 地域課題部門 | 午前10時10分 | から午後3時 |
| 理数課題部門 | 午前10時10分 | から午後3時10分 |
| 閉会式 | 午後3時40分 | から午後4時10分 |

- (2) 会場 鳥取県立美術館 ひろま、県民ギャラリー、ホール

(3) 内容

【地域課題部門】ポスター発表

県内中学校（鳥取市立青谷中学校・鳥取市立千代南中学校・米子市立東山中学校）、特別支援学校（鳥取豊学校）、高等学校から25チーム87名が参加

【理数課題部門】スライド発表

県内高等学校から11チーム30名が参加

※理数課題部門は審査のうえ最優秀賞1グループ、優秀賞2グループを表彰

最優秀賞

「キッチンファイバーの菌類・細菌類との戦いの記録～実用化を目指して～」【化学分野】
（鳥取東高等学校 第2学年生徒5名）

優秀賞

「気柱共鳴の開口補正の範囲」【物理分野】
（鳥取西高等学校 第2学年生徒5名）

「鳥取県千代川水系におけるテナガエビの調査報告」【生物分野】
（鳥取東高等学校 第1学年生徒1名）

<当日の様子>



地域課題部門（県民ギャラリー）



理数課題部門（ホール）

3 ふるさとキャリア教育フェスティバル

- (1) 日 時 令和7年2月1日(土) 正午から午後4時30分まで
- (2) 会 場 エースパック未来中心 セミナールーム3及びアトリウム
- (3) 参加者 約230名(児童生徒、保護者、教職員、一般県民、県・市町村教育行政関係者)
- (4) 内 容

【セミナールーム3】

① オープニング

- ・オープニングムービー「令和5年度ふるさとキャリア教育 CMコンテスト大賞作品」
- ・開会あいさつ 足羽 英樹 教育長
- ・取組紹介「鳥取県のふるさとキャリア教育について」

② 「親子でおしごと体験ツアー」参加児童による学びの成果発表会

参加者のうち代表児童4名が、ふるさと鳥取の魅力ある企業の見学、体験から、感じたことや新たに発見したことなどをまとめて発表した。

※「親子でおしごと体験ツアー」：令和6年7月29日から31日の3日間、東部、中部、西部で開催。全43組91名の親子が参加して、鳥取の魅力ある企業を訪問し、仕事見学・体験を行うとともに、ふるさと鳥取で働く思いについて話を聞いた。

<発表者>

- ・東部 鳥取市立富桑小学校 5年 上住 芹南さん 上住 舞留さん
- ・中部 琴浦町立聖郷小学校 4年 小畑 勇翔さん
- ・西部 米子市立明道小学校 6年 泉原 俊介さん

③ パネルディスカッション(テーマ：ふるさと鳥取の魅力とこれから)

県内企業4名、高校生4名の計8名のパネリストから、企業や学校の良いところについての紹介と、ふるさと鳥取の魅力についての話を聞いた。また、パネリストは鳥取の課題とその解決策についてもそれぞれの立場でできることを、自身の体験や経験から考えて意見を交わし合った。鳥取だからこそできることがあること、そして、鳥取のすばらしさや魅力をもっと多くの人に知ってもらい、鳥取を元気にしたいという思いなどが熱く語られた。

<パネリスト>

- ・企業4名：株式会社LIMNO： 齋尾 李夢さん、福田 真由さん
 大山乳業農業協同組合：山根 千尋さん
 株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク：植田 彩花さん
- ・生徒4名：県立米子南高等学校： 逸見 一葉さん、松村 颯也さん、中田 陽斗さん、葉狩 桂さん

④ 「ふるさとキャリア教育 CMコンテスト～わたしたちのまちのミリョクを紹介しよう～」表彰式

各学校から応募のあった作品の中から、「ふるさとキャリア教育 CMコンテスト 大賞」「CM賞」「奨励賞」に選出されたチーム・個人の表彰を行った。また、式の最後に、本コンテストの審査委員長 小林大二氏(合同会社スタジオビーチ代表)に講評をいただいた。

※「ふるさとキャリア教育 CMコンテスト」：自分たちの住んでいるまちのミリョクを紹介する30秒の動画を募集。小学生(4年から6年)の部、中学生の部、高校生の部の3部門で合計148点の応募があった。アトリウムで全応募作品を上映。

【表彰者】

	小学生の部	中学生の部	高校生の部
ふるさとキャリア教育 CMコンテスト 大賞	鳥取市立賀露小学校 6年 チーム名：施設 「知ってる？賀露神社の魅力」	倉吉市立鴨川中学校 1年 チーム名：さいとりさしチーム 「地域を守る 伝統をつなぐ」	米子南高等学校 逸見 一葉 「人は少ない。魅力は多い。」
ふるさとキャリア教育 CMコンテスト CM賞	伯耆町立溝口小学校 4年 チーム名：みぞっこ4 「遊びに来てね！榎水高原」	倉吉市立河北中学校 1年 チーム名：3組3班 「円形劇場 くらよしフィギュア ミュージアム」	米子南高等学校 松村 颯也 「トットリップ ～うちのいいところまいいもの～」
	智頭町立智頭小学校 チーム名：タブレットクラブ5年2組 「智頭町でドレミの歌♪」	琴浦町立東伯中学校 1年 チーム名：あごカツ愛する者たち 「アゴカツラブ」	白兔養護学校高等部 チーム名：ホワイトラビット 「白兔のご縁」
ふるさとキャリア教育 CMコンテスト 奨励賞	智頭町立智頭小学校 6年 チーム名：MIMR 「智頭町に来た謎のラッパー」	倉吉市立東中学校 1年 チーム名：1組2班 「心を込めて作られる工芸品」	米子西高等学校 若竹 日和 「おいでよ よなごのまち」
	三朝町立三朝小学校 5年 チーム名：5B三朝温泉 「温泉戦隊三朝レンジャー」	倉吉市立東中学校 1年 チーム名：3組5班 「活気ある倉吉」	米子南高等学校 チーム名：米南商会 「★鳥取県の魅力発信するけん★」
	鳥取大学附属小学校 4年 チーム名：A 「砂丘地の開発 榎田晴蔵さんの偉業」	日野町立日野学園 8年 チーム名：日野町にきてごしない！ 「トラネコ」	鳥取大学附属特別支援学校高等部 チーム名：FUTOKU青春6 「We love Koyama♡」

<当日の様子>



「親子でお仕事体験ツアー」まなびの成果発表会



パネルディスカッション



「ふるさとキャリア教育 CMコンテスト」表彰式

【アトリウム（展示・体験コーナー）】

- 「ふるさとキャリア教育 CMコンテスト」応募全148作品動画視聴ブース
- 「親子でおしごと体験ツアー」学びの成果物展示（43作品）、協力企業の紹介（6社）
- ミニおしごと体験（4社）
 - ・株式会社LIMNO「タブレット組立体験」
 - ・株式会社チュウブ「グラウンドゴルフ体験」
 - ・三光株式会社「映えるリサイクル燃料づくり」
 - ・株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク「地域の魅力を発信するキャラクター考案体験」
- NHK鳥取放送局小学校社会科教材「考える鳥取」紹介コーナー
- 鳥取県教育委員会「ふるさとキャリア教育」の取組概要展示
- むきばんだ史跡公園による資料展示と体験コーナー

(5) 参加者の感想

- ・パネルディスカッションで高校生の意見を聞いて、鳥取のことを考え、発信してくれる若い方が増えてくれたら、鳥取県の未来も明るいと思った。企業の方々も、若者の視点からの発表で、鳥取県の未来を考えるエネルギーを感じた。
- ・ふるさとについて調べ、行動し、チャレンジして表彰される、このような積み重ねで当たり前前に故郷を愛するようになるのだと感じた。CMを見て初めて知ったこと、訪れてみたいところもあった。大人が手本になり、ふるさとを愛し楽しむ姿を見せることも大切だと改めて感じた。
- ・表彰式では、会場があたたかい雰囲気に包まれ、みんなで拍手をして幸せな気持ちになれた。
- ・多くの県民にふるさとキャリア教育を知っていただく良い機会になったと思う。また、発表会や表彰式などの貴重な経験が子どもたちの成長に繋がっていくのだと思った。
- ・大変素晴らしいイベントだったが、報道などで周知をして、もっと参加者が増えるといいと思う。

(6) 今後の取組

- 本イベントに参加できなかった人たちへイベントの様子を共有するなど、ふるさとキャリア教育の取組、ふるさと鳥取の魅力や良さについて周知を図っていく。
- ・本フェスティバルの様子を受賞作品とともに、鳥取県教育委員会のホームページ等で発信する。
 - ・「ふるさとキャリア教育 CMコンテスト」の受賞作品を様々なイベント、研修会等の際に上映・紹介するなど、積極的に活用、発信する。